

保谷二小 研究便り

令和7年 11月 11日
西東京市立保谷第二小学校
校長 齊藤 境栄
研究推進部

研究主題 児童の思考力が向上する指導法の研究

令和7年度は、研究主題に「児童の思考力が向上する指導法の研究」を掲げ、研究を進めています。児童に問題解決の過程を繰り返し経験させ、考える時間を十分に保障することで、思考力が向上できるような授業の在り方を考えています。教員も研究授業やその後の協議会で思考力について思考しました。これからも授業力の向上を目指していきます。

～第2回研究授業 10月 15日(水)～ 4年1組 算数科 「面積のくらべ方と表し方」

本時は、L字型などの複合的な図形の面積の求め方について学習しました。タブレット端末を活用し、手元の図形を動かしながら友達の考え方を実際に試す活動を取り入れました。このような学習を通して、子どもたちがさまざまな視点から考え、より深く思考できることを目標に授業を行いました。



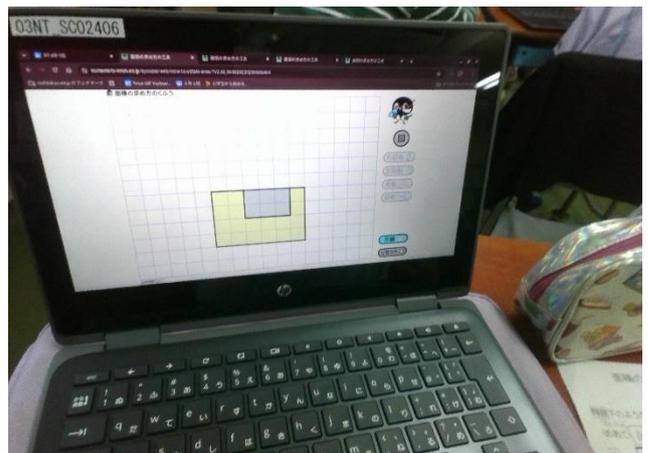
タブレット端末でQRコードを読み取り、多様な複合図形の問題に取り組みました。子どもたちは画面上で図形を動かしたり、形を変えたりしていました。自分の考えを友達に伝えたり、友達の考えを取り入れ、試したりする姿が見られました。



学習の中で、児童の思考力を2項目(刺激、深さ)の観点から、観察を行いました。

刺激…学習への意欲の高まり

深さ…多様な考え方もつ姿



協議会では、グループに分かれて、「思考力の向上にタブレット端末の活用は有効であったのか」「タブレット端末は子どもたちに刺激を与え、深く考えるきっかけになったのか」児童の思考の様子について話し合いました。タブレット端末を活用することで、児童は自分の考えをより分かりやすく表現したり、友達と共有したりすることができるようになってきています。使用場面によっては、準備に時間がかかることもありますが、ノートと併用して、学習の目的に応じた使い方を工夫しながら、より効果的な活用を目指していきます。